

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | ビジネス実務 I | | 科目コード | 10040101 | | |
|------------|---|------|-------|----------|-----|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 前期 | 45 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | <p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容とする。</p> <p>テキストを通じた授業では、社会人としてのマナーを身に付け、実践する。</p> <p>学校行事に全力で取り組み、コミュニケーション能力を身につける。</p> <p>社会に出ていくうえで必要となる基礎的な情報を知り、自分のキャリアをどのように築いていけばいいかを考える。</p> | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・マナー、礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。 ・自己理解の深化、職業理解の促進、キャリアプランニング能力の育成、社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力、問題解決力、情報収集能力などのスキルの習得。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験95%、出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験：各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | 常勤 | | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター | | | | | |
| 関連科目 | ビジネス実務Ⅱ | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校行事 <ol style="list-style-type: none"> ① 新入生オリエンテーション 15コマ ② 1年生合宿 12コマ 2. ビジネスマナーの基本 4コマ <ol style="list-style-type: none"> ① 基本姿勢 ② 重要性 ③ 身嗜み ④ 言葉遣い ⑤ 挨拶の基本 ⑥ 理解度チェック 3. ビジネスマナーとルール 6コマ <ol style="list-style-type: none"> ① 目標の立て方 ② 仕事の進め方 ③ 時間管理 ④ 報告連絡相談 ⑤ 理解度チェック 4. キャリア 16コマ <ol style="list-style-type: none"> ① 就活のプロセスの理解 ② 自己理解 ③ 世の中、社会を知る ④ 社会人基礎力 | | | | | |

| | |
|--------|--|
| | <ul style="list-style-type: none">⑤自己分析⑥ビジネスを知る⑦業界、職種を知る⑧価値観と適性⑨就活／社会人に向けて一計画行動と日々の習慣 5. キャリアチャレンジ 5コマ |
| 事前事後学習 | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | コンピュータ概論 | | | 科目コード | 10012001 | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 前期 | 70 | 4 | 無 |
| 授業の概要・目的 | テクノロジ系の基礎となる情報の基礎理論やハードウェア、ソフトウェア等に関する分野の知識を網羅的に学ぶ。 基礎的な用語や考え方を身につけることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | 急速に進化するIT業界において、ニュース等で最新の情報も取り入れることで、新しい知識や技術に興味を持ち、主体的に学べる基礎学力を身につける。 情報処理能力認定試験2級1部に合格する程度の知識を身につける。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験: 情報処理能力認定と同水準の試験を行い、その試験結果により判定し、評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 宗二 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論」(株)ウィネット、「情報処理試験合格へのパスポート、マネジメントと情報化」(株)ウィネット、「情報処理技術者能力認定試験問題集」(株)サーティファイ | | | | | |
| 関連科目 | 情報処理技術者 I | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 コンピュータの基礎知識 2. 第2章 コンピュータの数値表現 3. 第3章 ハードウェア 4. 第4章 システムの構成要素 5. 第5章 ソフトウェア 6. 第6章 マルチメディア 7. 第7章 AI(人工知能) 8. 第8章 アルゴリズムとデータ構造 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安: 10時間) | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | ネットワークセキュリティ | | | 科目コード | 10012101 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 前期 | 45 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | ネットワークに関する基本知識及び情報セキュリティに関する基本知識を身につけることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | ネットワークに関する基礎的な知識が説明できる及び情報セキュリティに関する必要な知識が説明できる。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 | | | | | |
| 担当教員 | 岡本 和也 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「情報処理試験合格へのパスポート システム開発と情報技術」(株)ウィネット | | | | | |
| 関連科目 | 情報処理技術者Ⅰ | | | | | |
| 授業計画 | 1. 第1章 データベース 2. 第2章 ネットワーク 3. 第3章 情報セキュリティ | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | プログラミング I | | | 科目コード | 10011601 | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 前期 | 75 | 3 | 有 |
| 授業の概要・目的 | Javaの基本的な文法及び、オブジェクト指向の考え方を学習し、オブジェクト指向を用いたプログラミングスキルの基礎を身につける。 | | | | | |
| 到達目標 | オブジェクト指向を用いた基礎的な文法、考え方を身につけることを目的とする。 また、Javaプログラミング能力認定試験2級の合格を目指す | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(75%) 授業中課題(20%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | Javaによる基本的な処理とデータ構造の理解、オブジェクト指向の基本概念の理解度を確認する筆記試験を実施する。授業中の提出課題も評価に加える。 | | | | | |
| 担当教員 | 株式会社システムエンタープライズ | | | 非常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | 岡山県に本社を置くソフトウェア開発・ITソリューション企業です。金融・教育・医療など幅広い分野でシステムコンサルティングや受託開発を行っている。 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「スッキリわかるJava入門」インプレス社 | | | | | |
| 関連科目 | プログラミング II アルゴリズム概論 | | | | | |
| 授業計画 | 1環境準備 Java入門 2式と演算子 3条件分岐と繰り返し 4配列 5メソッド 6複数クラスを用いた開発 7オブジェクト指向概論 8インスタンスとクラス 9様々なクラス機構 10継承 11検定対策 12高度な継承 13多態性 14カプセル化 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | アルゴリズム概論 | | | 科目コード | 10012201 | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 前期 | 50 | 3 | 無 |
| 授業の概要・目的 | プログラムの流れを考え、疑似言語を使い記述するものであるため、正解が一つではない事を第一に理解する。基礎でパターン化された手順を学び、その後、応用問題を解く事により理解度を深める。 | | | | | |
| 到達目標 | 基礎的なアルゴリズムの流れ、考え方を身につけることを目的とする。また、如何に効率よく作れるか、論理的に処理手順を考える能力を身につける。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験 (95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 基礎的なアルゴリズムの流れ、考え方が身につけられているか、また論理的思考力を問う記述試験を実施し、評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造」(株)ウィネット | | | | | |
| 関連科目 | プログラミング I プログラミング II | | | | | |
| 授業計画 | 1 アルゴリズム入門 2 流れ図の基本パターン 3 疑似言語の基本パターン 4 問題演習 5 計算のアルゴリズム 6 問題演習 7 関数・手続き 8 問題演習 9 配列の操作 10 問題演習 11 探索のアルゴリズム 12 整列のアルゴリズム、オブジェクト指向 13 問題演習 14 データ構造 15 問題演習 16 確認テスト | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | ビジネスアプリケーション演習 | | | 科目コード | 10011401 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 前期 | 30 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | Windows操作方法の確認、Excelでは操作方法の確認、各関数を使えるようにする。実際にパソコンを使用して、確実に処理が行われているか確認しながらExcel検定2級の合格レベルまで引き上げていく。 | | | | | |
| 到達目標 | Windowsの基本操作を理解。表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。関数を使った簡単な表を作成し、必要に応じて並べ替えやフィルターを設定できるようにする。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(75%) 授業中課題(20%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 初めて使用する機能や関数が出てきた場合には、問題を解く前にプロジェクターを使用して前で解説を行い、機能や関数の本質的な意味が理解できるような授業展開とする。積極的に機能に触れ、OS,アプリケーション操作に慣れることを期待する。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「よくわかる Microsoft Excel 2024 基礎」FOM出版 | | | | | |
| 関連科目 | プログラミング I プログラミング II | | | | | |
| 授業計画 | 1 Windowsの基礎知識 2 Windowsの基礎操作 3 Excelの基礎知識 4 データの入力 5 表の作成 6 数式の入力 7 複数シートの操作 8 グラフの作成 9 Excelの関数 | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | ペン字 | | | 科目コード | 10030101 | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 前期 | 15 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | <p>美しい文字(読み手が読みやすく、丁寧に書かれた文字)を書くことの大切さを理解し、その為の正しい姿勢・呼吸・ペンの持ち方を学ぶ。</p> <p>ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形を学ぶ。</p> <p>履歴書・封筒(縦・横)の書式を理解し、美しく紙面にバランスよく書けるようにするとともに学び続ける意欲を持たす。</p> | | | | | |
| 到達目標 | <p>書き込み式のテキストを使い、ポイントを理解し、反復練習し、上達をはかる。</p> <p>ひらがな、漢字基本点画、部首別解説では、生徒が板書した字をもとに重要ポイントを具体的に応用が利くように解説する。</p> <p>個別指導、声かけにより成長した所、今後取り組むべき課題を明確にし、楽しく学び続ける意欲を持たせる。</p> | | | | | |
| 評価項目 | 履歴書45%、封筒たて10%、封筒よこ10%、礼状たて10%、礼状よこ10%、授業態度5%、感想5%、出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 各授業の課題により評価 | | | | | |
| 担当教員 | 三宅 佳与 | | | 非常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | 書塾で教鞭をとり30年 現在は学校教員の指導講座ももつ | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「美しく正しい字が書ける ペン字練習帳」新星出版 | | | | | |
| 関連科目 | なし | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本の習得(ひらがな楷書) 2. カタカナの基本 3. 漢字について 4. 数字とアルファベット 5. はがき、封筒の表書きについて 6. 履歴書について 7. まとめ | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|---|------|-------|----------|-----|------|
| 科目名 | 情報処理技術者 I | | 科目コード | 10011901 | | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 後期 | 85 | 3 | 無 |
| 授業の概要・目的 | 情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。 | | | | | |
| 到達目標 | 午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる | | | | | |
| 評価項目 | 模擬試験結果 20%) 本試験結果 75%) 出席率 5%) | | | | | |
| 評価基準 | 本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 授業中に適宜資料を配布する | | | | | |
| 関連科目 | コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 情報リテラシー | | | | | |
| 授業計画 | 1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験1 5 弱点補強 6 模擬試験2 7 総まとめ 8 決起会 | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | ビジネス実務Ⅱ | | | 科目コード | 11051401 | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 後期 | 15 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | <p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とし講義内容とする。</p> | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。 ・社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。 ・明確な目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・マナー、礼儀を身につけ、社会人としての判断ができる。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(95%)、出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター | | | | | |
| 関連科目 | ビジネス実務Ⅰ、Ⅲ | | | | | |
| 授業計画 | <p>1. 電話の応対 5コマ</p> <p>①電話の基本マナー</p> <p>②電話の受け方・かけ方</p> <p>③不在者宛ての電話対応</p> <p>④伝言のポイント</p> <p>⑤携帯電話のマナー</p> <p>⑥電子メールの基本マナー</p> <p>3. 応対のマナー 5コマ</p> <p>①来客応対</p> <p>②案内の基本</p> <p>③席次の基本知識</p> <p>④お見送りの基本</p> <p>⑤訪問の予約の取り方、取次依頼、面会時のマナー</p> <p>⑥名刺交換マナー</p> <p>⑦お茶の出し方</p> | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | プログラミングⅡ | | | 科目コード | 10011701 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 後期 | 45 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | Javaの基本的な文法及び、オブジェクト指向の考え方を学習し、オブジェクト指向を用いたプログラミングができるようになる。 | | | | | |
| 到達目標 | Javaプログラミング能力認定試験2級の合格を目指すことで能力を高める。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験70%) 授業中課題25%) 出席率5%) | | | | | |
| 評価基準 | 本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 | | | | | |
| 担当教員 | 近藤 進介 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | ミドルウェア、IaaSシステムの開発8年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「Java™プログラミング能力認定試験2級過去問題集」 サーティファイ | | | | | |
| 関連科目 | アルゴリズム概論 | | | | | |
| 授業計画 | 1標準クラス 2コレクション 3例外処理 4自動採点ツールを用いた問題演習 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | 情報リテラシー | | 科目コード | 10011801 | | |
|------------|--|------|-------|----------|-----|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 後期 | 30 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | 情報処理技術者試験(基本情報技術者試験)の午前問題集をベースに、これまで学んだコンピュータ用語の確認、言語、アルゴリズムなど、分野ごとの理解度を向上させる。 | | | | | |
| 到達目標 | 情報処理試験向け実践問題について一問一問理解を深め、各分野の基礎力を高める。学びによって自身の情報リテラシーを高め、試験合格を目指す。 | | | | | |
| 評価項目 | 検定結果 35%) 模擬試験結果 60%) 出欠席5%) | | | | | |
| 評価基準 | 検定試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「情報処理技術者能力認定試験2級問題集」 サーティファイ | | | | | |
| 関連科目 | コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 | | | | | |
| 授業計画 | 1 第2部演習問題 2 過去問答練 3 模擬試験 | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | フロントエンド I | | | 科目コード | 11082201 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 後期 | 45 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | WebページおよびWebサイト制作の基礎知識・技術を身につける。Webサイトの技術面だけでなく、関連技術やモラルなども身につける。 | | | | | |
| 到達目標 | Webサイト制作の基礎知識・技術の修得、及びJavaScriptの基本的な文法を習得する。JavaScriptを用いて動的なアプリケーションを作成する。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験60%) 確認テスト10%) レポート25%) 出席率5%) | | | | | |
| 評価基準 | HTML,CSSについて知識習得レベルを問う筆記試験を行う。JSについても基礎的な部分の理解を問う。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「スラスラわかるHTML&CSSのきほん」SB Creative社 | | | | | |
| 関連科目 | フロントエンド II | | | | | |
| 授業計画 | <p>1ガイダンス Webサイト制作を始める前に</p> <p>2HTMLの基礎 制作の準備と基本のHTML</p> <p>3テキストの表示</p> <p>4リンクと画像の挿入</p> <p>5CSSの基礎</p> <p>6テキストのスタイル、背景色、ボックスモデル</p> <p>7スタイルの上書き、フレックスボックス、テーブルの整形</p> <p>82ページ目以降のHTMLとグリッドレイアウト</p> <p>9フォームを使うページの作成</p> <p>10モバイル端末に対応</p> <p>11JavaScriptの基本</p> <p>12基本データ動作</p> | | | | | |

| | |
|--------|---|
| | 13Webサイトを公開す 14総合演習FTP・Webサーバーの構築 |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間) |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | データベース | | | 科目コード | 11012701 | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 後期 | 60 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | データベースの基本的な仕組み、正規化の考え方を理解した上でMySQLを用いてSQL4大構文を用い、データ操作ができる。 | | | | | |
| 到達目標 | データベースMSの基本的な操作方法を理解する。情報処理技術者試験のデータベース分野の問題を理解し回答できる | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験70%) 確認テスト20%) 出席率5%) 授業態度5%) | | | | | |
| 評価基準 | データベースMSの基本及びSQLの基本を理解しているかについて筆記試験を実施する。その結果により評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 若林 潤一 | | | 非常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア25年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「データベースとSQL」インフォテック・サーブ | | | | | |
| 関連科目 | コンピュータ概論 情報リテラシー | | | | | |
| 授業計画 | 1データベース 環境準備 2 データベースの概要と管理システム 3 データモデルとデータベース設計 4 SQL文、関数 5 複数テーブル操作 6 ビューと副照会、条件分岐 7 トランザクション管理、データベース応用 8 総合演習 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | システム設計 | | | 科目コード | 11010601 | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 後期 | 50 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | システム開発におけるドキュメントの作成方法を学習し、実際にロボットを使ったプロジェクト開発を行うことでシステム開発に必要な工程を理解する。 | | | | | |
| 到達目標 | システムの上流工程に必要なプロジェクト計画書、要件定義書、システム設計書を作成することができる。 | | | | | |
| 評価項目 | 授業成果物:95%) 出席率:5%) | | | | | |
| 評価基準 | プロジェクト内で作成したプロジェクト計画書、要件定義書、システム設計書の内容により評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 赤木 伸 | | | 非常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | 1982年-1987年制御系SEとして、大型プラント作成に従事。1987年-1989年情報提供システム構築にユーザ側SEとして従事。1989年-専門学校システムの構築、運営に従事。 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「1週間でシステム開発の基礎を学べる本」 インプレス | | | | | |
| 関連科目 | 開発技術 | | | | | |
| 授業計画 | 1 プロジェクト計画書 2 要件定義書 3 システム設計書 4 プロジェクト開発 | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | ネットワーク演習 I | | | 科目コード | 11085901 | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 後期 | 50 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | コンピュータネットワークの基本的な理解。レイヤ1～レイヤ3、特にルータやL2スイッチの役割を理解し、基本的なネットワーク構築技術を身につけることを目標とする。 | | | | | |
| 到達目標 | Ciscoの設定コマンドの基礎部分についての理解。スモールオフィス規模のVLAN設計、ネットワーク構築ができるスキルを身につける。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験95% 出席率5% | | | | | |
| 評価基準 | 授業で学んだコンピュータネットワークの基本及びネットワーク構築に関する基本的な技術を理解しているかについて筆記試験を実施する。その結果により評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 岡本 和也 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「1週間でCCNAの基礎が学べる本 第3版」株式会社インプレス | | | | | |
| 関連科目 | ネットワークセキュリティ ネットワーク演習 II セキュリティ演習 インフラセキュリティ I | | | | | |
| 授業計画 | 1 デバイスの設置・接続・IPアドレスの設定 2 ルーティング1 3 DHCP/DNS/HTTPサーバの設置 4 VLAN設定 5 ルーティング2 6 ルーティング3 7 総合演習 I 8 総合演習 II | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間) | | | | | |

情報スペシャリスト学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | インフラ I | | 科目コード | 11082401 | | |
|------------|--|------|-------|----------|-----|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 後期 | 50 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | Linuxの基本的なコマンド操作およびサーバ構築ができる | | | | | |
| 到達目標 | 仮想環境を用いてLinuxOSをインストールし、コマンドラインを用いて様々な設定ができる。Linux Level1に合格できるレベルの知識とスキルを習得できる。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験70%) 確認テスト25%) 出席率5%) | | | | | |
| 評価基準 | 授業で学んだLinux及びその操作に関する基本的な技術を理解しているかについて筆記試験を実施する。その結果により評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 藤井 克俊 | | 常勤 | | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 5年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「基礎からしっかり学ぶ Linux入門」技術評論社 | | | | | |
| 関連科目 | ネットワークセキュリティ インフラII | | | | | |
| 授業計画 | 1 Linuxの基本 2 bashシェルの基本 3 ファイルとディレクトリ 4 vimの利用 5 応用的なファイル操作 6 アカウントの管理 7 パーミッションとユーザー権限の切り替え 8 検定対策 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |